

**(社) 日本糖尿病協会の東日本大震災義援金への  
ご協力御礼と支援先のご報告**

社団法人日本糖尿病学会理事長 門脇 孝  
第54回日本糖尿病学会年次学術集会会長 羽田 勝計

(社) 日本糖尿病協会では、被災された糖尿病患者の方々が一日も早く通常の生活に戻れることを支援するため、震災直後から6月末まで、「東日本大震災義援金」の募集を行ってきました。本学会もその趣旨に全面的に賛同し、学会員はもとより、一般の方々ならびに企業の皆様に対し、日本糖尿病協会の義援金募集に対する協力を広くお願いしてきたところです。

この間に寄せられた義援金は約200件、総額1,500万円余りに上りました。本学会では第54回日本糖尿病学会年次学術集会(札幌)において「東日本大震災における糖尿病医療復興支援の提言」を行い、会期中に参加された皆様から善意としてお寄せいただいた募金総額865,463円のほか、岡山大学榎野博史教授が記念出版された写真集の売上金156,400円についても榎野先生のご厚意により、日本糖尿病協会の義援金として寄付させていただきました。多大なるご協力に深く感謝申し上げます。

今回集まった義援金の支援先については、東北地区の日本糖尿病協会・日本糖尿病学会の理事や役員により委員会が組織され検討してきた結果、特に被害が大きかった次の医療機関に、糖尿病治療用の検査機材や血糖自己測定器などの購入資金として寄贈され、7月下旬～8月下旬にかけてこれらの機器が各医療機関に納入されました。

**義援金配分先の内訳**

	医療機関	希望機材など	支援金額
岩手県	県立山田病院	ヘモグロビン A1c 測定装置	¥2,000,000
	県立大槌病院	ヘモグロビンA1c測定装置, ABI 測定装置	¥2,000,000
	県立高田病院	尿分析装置	¥2,000,000
宮城県	南三陸診療所 (公立志津川病院)	ヘモグロビン A1c 測定装置	¥4,250,000
福島県	太田西ノ内病院	フードモデル	¥250,000
	総合磐城共立病院	血糖自己測定器 30 台	¥600,000
	たねだ内科クリニック	血糖自己測定器 25 台	¥500,000
	竹田総合病院	血糖自己測定器 20 台	¥400,000
	相馬中央病院	インスリンポンプ 1 台	¥500,000
	計		¥12,500,000

このほか、多くの医療機関からご要望のあった糖尿病教育資材が別途現物提供されます。なお、今回は緊急性の高い施設を優先してきましたが、今後の復興段階に応じて残りの義援金が支援金として分配される予定です。今後、各医療機関の復興支援を通じて被災された糖尿病患者さんのお役に立つことを切に願っております。

平成23年8月25日